

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【公表番号】特表2016-519938(P2016-519938A)

【公表日】平成28年7月11日(2016.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2016-041

【出願番号】特願2016-514476(P2016-514476)

【国際特許分類】

C 1 2 N	5/0775	(2010.01)
C 1 2 N	5/0789	(2010.01)
C 1 2 N	5/074	(2010.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
G 0 1 N	33/68	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	21/64	(2006.01)
G 0 1 N	21/78	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	5/0775	
C 1 2 N	5/0789	
C 1 2 N	5/074	
C 1 2 Q	1/02	
G 0 1 N	33/68	
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	Y
G 0 1 N	33/53	P
G 0 1 N	21/64	F
G 0 1 N	21/78	C

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月11日(2017.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

FACS分析を用いて、7またはそれより多い細胞表面マーカーの存在または不存在を同時に同定するための、蛍光標識抗体のパネルを製造する方法であって、

前記方法は、

- (a) 前記の7またはそれより多い細胞表面マーカーを選択するステップ；
- (b) 異なるレーザー上に陽性マーカーを広げるステップ；
- (c) 7またはそれより多い蛍光標識抗体を選択するステップ；
- (d) 前記の7またはそれより多いマーカー（陽性および陰性の両方）の公知の発現を有する細胞において最適な濃度および最小のスペクトルオーバーラップが達成されることを確実にするために、抗体を滴定するステップ；
- (e) 陽性の細胞表面マーカーに対して前記抗体を試験するステップ；
- (f) 前記抗体のコアパネルを試験するステップ；
- (g) プレースホルダーのマーカーを発現するために、細胞を誘導または刺激するステ

ップ；

(h) 前記プレースホルダーの抗体を試験および滴定するステップ；
(i) 前記プレースホルダーの条件を最適化するステップ；および、
(j) 他の細胞型の不存在下で、および混合された集団において、細胞に全パネルを試験するステップ、
を含む、

方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法であって、
前記方法は、FACS 分析を用いて、10 またはそれより多い細胞表面マーカーの存在
または不存在を同時に同定するための、蛍光標識抗体のパネルを製造するステップ、
を含む、

方法。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の方法であって、
前記抗体のコアパネルは、CD73、CD90、CD105、CD14、CD19、CD34 および CD45 に特異的に結合する、
方法。

【請求項 4】

請求項 1 または 2 に記載の方法であって、
前記抗体のコアパネルは、CD73、CD90、CD105、CD14、CD19、CD34、CD45、CD181 および CD184 に特異的に結合する、
方法。

【請求項 5】

請求項 1 または 2 に記載の方法であって、
前記抗体のコアパネルは、CD29、CD44、CD73、CD90、CD105、CD271、CD14、CD34 および CD45 に特異的に結合する、
方法。

【請求項 6】

請求項 1 または 2 に記載の方法であって、
前記抗体のコアパネルは、CD29、CD44、CD73、CD90、CD105、CD271、CD14、CD34、CD45、C-X-C ケモカイン受容体タイプ 1 (CXCR1)、CXCR2 および CXCR4 に特異的に結合する、
方法。

【請求項 7】

請求項 1 または 2 に記載の方法であって、
前記抗体のコアパネルは、CD10、CD29 および CD106 に特異的に結合する、
方法。

【請求項 8】

請求項 1 または 2 に記載の方法であって、
前記抗体のコアパネルは、Scal-1、CD45R、Gr-1、TCRalpha/beta、TCRgamma/delta、CD11b、Ter119 および Oct-4 に特異的に結合する、
方法。

【請求項 9】

請求項 1 または 2 に記載の方法であって、
前記抗体のコアパネルは、CD133 に特異的に結合する、
方法。

【請求項 10】

請求項 1 または 2 に記載の方法であって、

前記抗体のコアパネルは、KDR、VE-カドヘリンおよびCD31に特異的に結合する、

方法。

【請求項 1 1】

請求項1または2に記載の方法であって、

前記抗体のコアパネルは、CD117+、CD184、c-metおよびAC133に特異的に結合する、

方法。

【請求項 1 2】

請求項1～11のいずれか1項に記載の方法を用いて製造される、FACS分析を用いて、7またはそれより多い細胞表面マーカーの存在または不存在を同時に同定するための蛍光標識抗体のパネル。

【請求項 1 3】

細胞の集団における特定の細胞型を同定する方法であって、

請求項12に記載のパネルを用いて、FACSを用いて、前記集団における細胞の表面上の、前記の特定の細胞型を示す7またはそれより多い細胞表面マーカーの存在または不存在を、同時に同定するステップを含む、

方法。

【請求項 1 4】

細胞の集団における特定の細胞型を同定する方法であって、

(a) 請求項1～11のいずれか1項に記載の方法を用いて、FACS分析を用いて、前記特定の細胞型における、7またはそれより多い細胞表面マーカーの存在または不存在を同時に同定するための蛍光標識抗体のパネルを製造するステップ、および、

(b) 前記の蛍光標識抗体のパネルを用いて、FACSを用いて、前記集団における細胞の表面上の、前記の特定の細胞型を示す7またはそれより多い細胞表面マーカーの存在または不存在を、同時に同定するステップ、を含む、

方法。

【請求項 1 5】

細胞の集団における新規の細胞型を同定する方法であって、

請求項12に記載のパネルを用いて、FACSを用いて、前記集団における前記細胞の表面上の、7またはそれより多い細胞表面マーカーの存在または不存在を同時に同定するステップを含み、

前記の7またはそれより多いマーカーの少なくとも一部は、特定の細胞型を示し、

前記の7またはそれより多いマーカーの少なくとも1つは、前記の特定の細胞型によって検出可能に発現されない、

方法。